

～ 人権・同和教育だより ～

空に風 人に愛

島根県立浜田高等学校
定時制・通信制課程

第4号 2020. 7. 29 (水)



< 1学期 人権・同和教育LHR >

定時制では、7月10日(金)・16日(木)に人権・同和教育HR活動を実施しました。各学年・部で実施した内容について、簡単に紹介します。

昼間部 1年	「仲間づくり ～あなたのいいところをください!～」 ①「私のいいところ」を10個書き出す ②ペアの相手と①を紹介し合う ③相手のいいところ、自分にもほしいと思うところを3つ選んで書く ④ペアの相手と③を伝え合う
昼間部 2年 夜間部 合同	「いろいろな性ってなんだろう? ～性の多様性～」 ①アンケートに答え、ワークシートのイラストの性別を考える ②DVDを視聴する ③DVDの内容について確認する ・性のあり方について(4つのものさし) ・いろいろな性別について(LGBTQ ほか) ・差別的な言葉やアウティングなど、気をつけたいことについて ・お互いのちがいを大事にするための工夫について ④学習を通して考えたことや感じたこと、自分にできることを考える ⑤授業前と同じアンケートに答え、自分の意識の変化の有無を確認する
昼間部 3年	「差別や偏見を見抜く力を養う ～噂や迷信について考える～ (グループ活動)」 ①血液型による性格診断や相性診断の資料を読み、それを見たり話したり信じたりすることのよい面やよくない面を考え、グループで話し合う ②血液型性格診断や相性占いなどの功罪(よい面と、よくない面)を知る ③六曜について資料を読み、「結婚式は大安の日にした方がいい、仏滅の日はやめた方がいい」という意見についてどう思うか考え、グループで話し合う ④六曜の功罪を知る ⑤日常生活の噂や迷信が、偏見や差別、いじめなどの問題と関係していることに気づく
昼間部 4年	「就職差別について考える」 ①就職面接試験のロールプレイを見て、受験生が正しく評価されていない点を考える ②かつて使用されていた「社用紙」や④のロールプレイの問題点を考える ③現在の履歴書を見て、「社用紙」との違いや変わった理由を考える ④「就職差別につながる14事項」を確認する ⑤差別質問を受けた時の対処や受験報告書について知る

各担任や副担任の先生が中心となって授業を実施しました。ペアやグループでの活動、DVD視聴、ロールプレイングなど、教科の授業とはまた違った雰囲気だったのではないかなと思います。

授業後に生徒のみなさんが書いてくれた感想から、いくつか紹介します。

昼間部 1年生

- ・1組2組合同のグループだったので、会話したことがない人がいて、不安で最初はあまり乗り気ではありませんでしたが、気軽に話すことができ、知らない一面を知ることができ、楽しく活動ができました。今後、話をしたことがない人にも興味を持ち、これからの楽しい生活につなげていければと思いました。

(裏面へつづく)

昼間部 1年生

- ・垣谷先生が言われたとおり、人の悪いところならすぐ見つかる。だけどその悪いところを言うと、相手は嫌な気持ち、やりかえしたくなる悪い気持ちが芽生えてしまう。だから、良いところをいっぱい見つけて、お互いを尊敬し合うことが大切だと思う。
- ・他のクラスの人たちはあまり関わることがないため、第一印象でどんな人が決めつけていたけど、今回の人権・同和教育HR活動のおかげで、自分が第一印象で決めつけていたと分かったため、気をつけていこうと思った。自分がいいところを話す時、コミトレに書かれていたことを忘れていたので、次にこのような活動があれば気をつけていきたいと思った。
- ・グループのメンバーのいいところを聞いたり、自分のいいところを聞いてもらって、とてもうれしかったです。自分はあまり人と話すことが得意ではないので、こういう機会での会話に少しでも慣れたらいいと思います。

昼間部 2年生

- ・前は自分の周りにはいないと思っていたけれど、14~20人に1人がLGBTQだと知って、もっと性について考えてみようと思いました。自分と相手の価値観の違いを意識して会話をしたいです。
- ・昔、自分はたくさんの人をいじめていました。体が弱い人や、立場の弱い人に暴言や暴力を振るっていました。でもそのせいで自分が辛い思いをすることになり、いろんな人の助けを借りました。そうしているうちに、人それぞれの違いを理解できるようになりました。だからいろんな人と関わることで、違いを大事にできるんじゃないかなと思います。積極的にではなくても、少し人と話をすれば、いろいろな価値観が生まれると思います。

昼間部 3年生

- ・昔からの習慣や噂はよくあるけれど、それを利用して決めつけたりするのはよくないことだと感じました。決めつけることが差別につながることもあり、それが現在でも続いていることがあるので、決めつけずに自分の意見をしっかり持って向き合っていくことが大切だと思います。最近では、新型コロナウイルスの影響で嘘やデマがネット上に大量に出てきており、そういうものと向き合うためにもしっかりと情報を見極めて向き合い、正しい情報を見抜く力が必要になってくると思うので、噂などにだまされずに自分の意見をしっかり持とうと思います。

昼間部 4年生

- ・今回の授業を受け、4年生になると社会人に近づいているという実感もありますが、苦労することたくさんあるということに気づきました。また、毎年受験の後には、受験報告書を書いているということを知りました。受験報告書は、後輩たちにも嬉しいことだし、自分にとっても得なことがあるものなので、自分が受験した後にもしっかり報告書を書いて、後輩たちの役に立つようにしたいと考えました。
- ・これから実際に面接を受ける中で、不適切な質問を遠回しに聞いてくることもあるかもしれません。その時、答えるべき質問か、答えてはいけない質問かを見抜く力がやはり大切だと思います。答えてはいけない質問ばかりに気を取られて答えるべき質問に答えなければ、何の意味もありません。これからの面接練習でも指導があると思いますが、結局最後にやるのは自分自身なので、今日学んだこと一つ一つを頭に入れて、これからの面接練習に臨みたいと思いました。

夜間部合同

- ・前は笑ってしまっていたけど、「自分らしく」という言葉を大事にしようと思います。個性は大事、あたりまえはあたりまえじゃない。

どの内容にも共通しているのは、「自分（相手）のありのままを大切にすること」ではないでしょうか。自分の考える「普通」「あたりまえ」「幸せ」は、相手の考える「普通」「あたりまえ」「幸せ」とは違うかもしれません。お互いの「ちがひ」を知り、認め合うことで、世界は広がります。 (生徒部 人権・同和教育担当：岡崎)

< 一人一人の「多様性」を認め合おう > ~ 生徒部より ~

夜間部と昼間部2年生のHRを見て思い出したニュースがあります。2018年7月に「お茶の水女子大学（東京都）」が「戸籍上は男性でも、自身の性別が女性と認識しているトランスジェンダーの学生を2020年4月から受け入れる。」**「多様性を包摂する社会の対応として当然と考えた。真摯に学ぶことを受け入れるのは自然な流れだ。」**と発表しました。国内の女子大学でのこうした動きは当初初めてでしたが、その後、他の女子大学でも同様の検討が行われています。

いま**「多様性を包摂する社会を当然とする」**考え方が**「自然な流れ」**になっています。高校1年生が高校受験した時の願書からも「性別記入欄」がなくなりました。様々な場面で確かな変化が起きています。一人一人が持っている個性やパーソナリティなどの「多様性」をお互いに認め合い、昼間部1年生のHRで実施されたような、自他の尊重（自分も周囲の人たちも大切にできる関係づくり）を進めていきましょう。 (生徒部 人権・同和教育推進委員：春木)